

シリーズ **小中学校における働き方改革 最前線**

令和5年度「業務改善『夢』コーディネーター」による学校の働き方改革の取組の中から、ICTを活用し、校務の効率化に取り組んだ「沼津市立長井崎小中一貫学校」の先進的な取組を紹介します。

Webアプリケーションで
笑顔あふれる学校に

本校は開校して4年目になります。開校1年目は雑務が非常に多く、休む暇もないほど多忙を極めました。しかしそれは逆に、「この業務は、こうなったら楽になるのになあ。」というアイデアが多く得られる機会となりました。そのような中で3年という月日を掛けて、日々生まれてくるそのアイデアたちを、Google社が提供しているスプレッドシートやフォーム等(以下、Webアプリケーション)を活用し、少しずつ具現化していきました。今後、先生方と子どもたちが笑顔で接する時間が増え、「働くことが楽しい」「学校が楽しい」とお互いに思える学校が増えていくことを願い、本校で実装している業務改善のためのシステム構築の実践事例を一部紹介します。



web
ア
◀長井崎小中一貫学校
マスコットキャラクター
西内うらくん

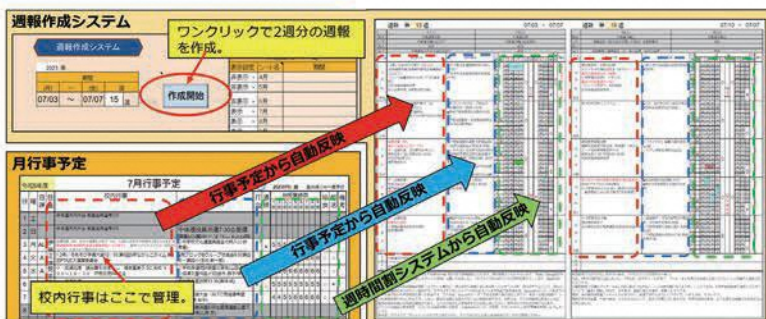
web
アプリケーション 現場の を活用した **業務改善**

沼津市立長井崎小中一貫学校システムネットワーク



 月行事予定・週報作成システム

削減時間 **21.5**分/日

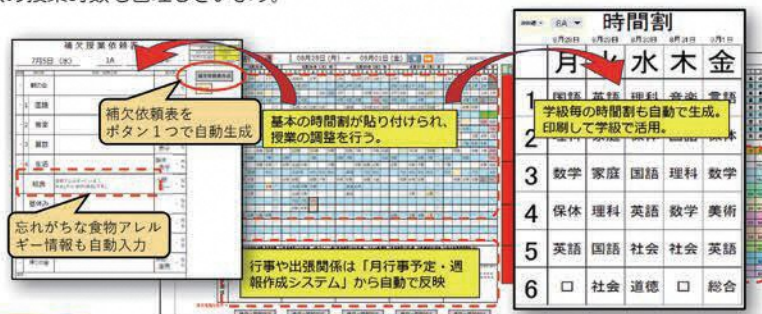


日々変更が生じる「年間行事予定」はウェブで管理。いつでもどこでも閲覧が可能なので、全教職員に紙媒体で配付はしていません。紙媒体では最新情報がキャッチできないからです。その月の最新の行事予定を、1-Click でアクセスして知ることができるのが利点です。また、「年間行事予定」データから最新情報の週報も作成可能。先生方からも「週報の予定が、アップデートされていて助かる」との声が聞かれました。

 週時間割
作成システム

削減時間 **23.8**分/日

「週時間割作成システム」では週を指定して作成ボタンを押せば暫定週時間割が作成されます。そこに「年間行事予定」の行事予定、出張・休暇等の情報が自動で表示されます。教務主任は、その情報を確認しながら授業の入れ替えや調整を行います。その後、作成された週時間割データから、学級単位の時間割や補欠依頼表も作成できるので先生方からも好評です。このシステムで全学級の授業時数も管理しています。



おわりに

学校の業務にWEBアプリケーションを活用することで、先生方から「ストレスなくスムーズに仕事ができるようになった」「確認したいときに、いつでもどこでもすぐに確認できるので、とても便利」といった「業務の効率化」や「働きやすさ」を実感した声が上がっています。その結果、学校での朝や放課後の時間に「ゆとり」が生まれ、子どもの話を笑顔でゆったりと聞いてあげたり、親身になって相談にのったりする時間が増えたのはもちろん、先生方のご家庭でのプライベートな時間も大切にできる職場になってきたと感じています。

【美致教育課：沼津市立長井崎小中一貫学校】

【義務教育課・沼津市立長井崎小中一貫学校】

連絡事項掲示板

削減時間 **20.4** 分／日

記入日 曜日	授業室	発題	動画	項目 分等	内容 (終了後色を変えておきます)
7/12	陳文妃	○	○	生徒指導	多岐な 多岐な 発言を希望する場合は、「○」を選択する。 て、そのような対応を取るのが難しい にしています。その際にも、心遣い児童・生 徒から見て、対応が具体的である。よくついても、お断りします。全体「」でなければなりませんので、この連絡を見た方は 、声からあきらめてください。
7/12	山田	○	○	健康観察	共通理解が深まっています。 夏休みの準備期間なし 動画は、個人 2週間前日(Chromebook)。それ以降は アンケートや閲覧データのリンクを文字に挿入。
7/12	山田	○	○	SC研修	25に1行SC研修の希望アンケートを、30秒で終わります。締め切り終了まで クロームブックの休み中は休みにして 暫休前に配付する部により準備が完了に比べてお断りください。貼り付けた後、書きを整えてください。 また、資料の準備や準備、資料についての内容と合わせて、クロームブックは準備中も使用の約束 (学習に際する関係 に使う、30分に1回は休まず、夜遅くまで使用しない等) を守って正しく利用するよう、学校で指導お願いしています。
7/12	小野	○	○	情報	夏の課題 https://docs.google.com/document/d/1YUg_ZoPm1YKXnEgGQ/1YUg_ZoPm1YKXnEgGQ/edit?usp=sharing 第2回人間関係アンケートへの記入をよろしくお願いいたします。今回は2回です。アンケートはこれから 第1回ストレスチェック 8/6までで 動機表の提出に合わせて、休暇後の記入提出も リンクは直貼りでもOK 必ず一致するように！
7/13	江澤	○	○	人権	
7/13	平野	○	○		
7/14	宮崎	○	○	夏期休業	

提案者は事前に「連絡事項掲示板」に必要な項目を入力しておきます。1-Click で開くことができるので一言に打合せを始めることができます。週に1度の打合せしかないので、各自が目を通せば良い内容は記載内容を読んでもらいます。発言の必要がある先生は「発言」の項目に○を付け、共通理解を図りたいことや補足事項を伝えるようにし、打合せの効率化を図っています。

欠席連絡管理システム

削減時間 **18.6** 分/日

朝、ちょっと早く出勤して仕事しようと思ったのに、保護者からの欠席の電話対応に追われてしまうことってありますよね。本校では、この問題を解消するために欠席連絡をフォームで行っています。保護者はスマートフォン等で欠席のためのアンケート（学級、名前、欠席の種別と理由、体温、症状）を入力。保護者から送信された情報は、この欠席連絡管理システムに全て集約され、全教職員が児童生徒の出欠状況を閲覧できるようになっています。



実践NOTE⁵³⁹

生徒が「みずから」言葉に向き合う授業づくり

牧之原市立榛原中学校 教諭 中嶋 淳介

以前、先輩の先生が生徒に次のよう
におっしゃっていました。

「どんなことでもみずからやってみる。
みずからの手でつくり上げる。それでは
じめてあなたが伸びるんだよ」

国語でも、「みずから」言葉に向き
合える授業ができれば、といつも考えています。うまくいくことばかりではあ
りませんが、私の実践を紹介させていただきます。

「みずから」言葉に向き合うために

授業を生徒が「みずから」言葉に向
き合う時間にするために、私は次のこと
を大切にして授業に取り組みました。

- 1、「取り組んでみたい」と思えるような
単元の課題の設定
- 2、「身につけたい言葉の力」の意識化
- 3、自己調整のための対話の場面の設定

これらを意識して行った授業をご紹介します。

「もしも〇〇が和歌のできごとを文章にしたら…」～古文に親しむ～

三大和歌集の和歌を読み味わうことで古文に親しみを覚えたり、当時
の人々の生活やものの見方を想像したりすることを目的にした学習では、
「もしも〇〇が和歌のできごとを文章にしたら…」という学習活動を設定
しました。これは、『もしも文豪たちがカップ焼きそばの作り方を書いたら』



生徒の姿から色々なことを感じ、学びたいと考えています



生徒の「みずから」を引き出したいと考えています

(2017、神田圭一、菊池良
共著、宝島社)という著作をヒント
にしています。最初に生徒た
ちにこの本に出てくる文章のいく
つかを提示し、これを三大和歌
集の和歌を使ってやってみるこ
とを説明しました。生徒たちは古
文の表現をよく学び、それぞれの
和歌についてどの人物が書い
たらその人らしく、面白いもの
になるかを仲間と話し合い、それ

をもとに「みずから」意欲的に文章を書くことができました。例えば、「東
の野に炎の立つ見えてかへり見すれば月傾きぬ」という和歌では、朝方
太陽と月が同時に出ている様子を、気象予報士が実際にワイドショーで話
しているかのような文章を作った生徒がいました。また、「憶良らは今は
罷らむ子泣くらむそれその母も我を待つらむそ」という和歌では、家庭生
活における親の役割を説く家庭科の先生の話を作った生徒がいました。

「みずから」を目指して

生徒自身が「みずから」言葉と向き合って学ぶ、そういう授業ができ
て初めて生徒の本当の力になります。しかし、実際にはそういう授業ができ
ることばかりではなく、毎日試行錯誤の連続です。これからもさまざまな
先生方、そして何よりも生徒の姿から学び、よりよい授業ができるよう、自
分の力を高めていきたいと思います。



実践NOTE⁵⁴⁰

幼児教育と小学校教育の円滑な接続をするために

松崎町立松崎幼稚園 教諭 植松 純子

遊びを通して学ぶ幼児期の教育から、教科等の学習を中心とした小
学校教育へと移行する中で子どもの発達や学びの連続性を確保するた
めには、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を手掛かりとし、
幼稚園と小学校の教職員が保育と教育との共通点や違いを、対話や活
動を通して相互理解することが必要であると考えます。

先生大集合!

令和5年度から町教育委員会主催で
“先生大集合”と称し「知り合う」をテー
マに、町内幼・保・小・中・高・特別
支援学校を加えた全校種の教職員と地
域協力隊の方が一堂に会しました。年
3回の集会を通して体験を共にし関わりを深めることで、子どもたちのこと
を話し共に育てていこうとする土台となりました。



大集合!

幼保の横のつながり

幼保の横のつながりをつくることを目指
し、町内私立保育園の5歳児との交
流を年4回実施しています。運動会ごっ



「僕3番がいい」「いいよ!」

こでは、紅白のチームを意図的に編成し、リレーで走る順番決めを子ど
もたちに任せてみました。幼保のみんなで意見を出し合い、友達を応援
しバトンをつなげたことで協同性が育まれました。

幼保小の縦のつながり

小学校での交流活動(プール見学・運
動会練習見学・弁当交流・マラソン大会
見学・体験入学等)を年4～5回程度計
画的に行っています。小学校入学を意識
し、期待感を高めるようにしました。交流
後、幼・保・小の教職員が交流の良かつ
た点や改善点等意見交換し、次年度の
よりよい交流につなげるようにしました。また、「交流を通してどのような力がついた
のか」「5歳児に育まれる資質・能力とは
どのようなものなのか」と、学びのつなが
りに視点を置いた話し合いをし、幼保小の教職員が認識を共有しました。
横のつながりや縦のつながりを深めることは、子どもたちの小学校入学に
対する不安を軽減し、安心感を高めることにつながっていると思います。



「名前書けるかな?」



交流後の教職員のふりかえり

教職員資質向上のための情報発信サイト

Eジャーナルしずおか^{plus} がオープンしました!

県教育委員会では、これまでの「Eジャーナルしずおか」と同等の情報発信に加え、便利な機能を備えたWEBサイト

Eジャーナルしずおか+(プラス) をオープンしました。

随時記事を更新していきますので、ぜひアクセスしてください!

こちらから
ご覧ください!

Eジャーナルプラス 検索



新サイトの機能を紹介します

ポイント1

いつでもどこでも記事の閲覧が可能に!

職場のパソコンだけでなく、お手持のスマートフォンやタブレット端末からも記事の閲覧が可能です。

ポイント2

新着情報や注目情報をピックアップ!

新着記事や注目記事をピックアップして表示します。

更新情報をお知らせするメールマガジン(※)も5月中旬から配信予定!

※県立学校はNESメール、市町立学校は市町教育委員会を通じてメールマガジンを配信します。

※今後、個人のメールアドレス(キャリアメールやGmail等)への配信も検討中です。



ポイント3

記事の検索が可能に!

「過去の記事を探したい!」「自分が執筆した実践ノートが見たい!」そんな時には、検索機能が便利です。

ポイント4

カテゴリ別に記事の閲覧が可能に!

新サイトでは、カテゴリ別に記事を掲載していきます。カテゴリは随時追加予定!

今後の予定

5月中旬 メールマガジン配信開始

7月 新サイトの運用に関するアンケート実施 → 皆さんの声をお聞かせください!

9月 紙媒体(Eジャーナルしずおか)発行終了

【教育政策課】



特別支援教育における1人1台端末の活用に関する資料をホームページにて公開しています!

総合教育センターで公開中の資料

- ・活用のポイント
- ・端末活用のヒント

・「知る」「慣れる」「活用する」を支える

授業参考事例



これまでの実践にICT(1人1台端末)を掛け合わせることで、子どもの資質・能力をより一層育む実践となります。新しい資料「授業参考事例」の一部を紹介します。

児童生徒の思い



販売会でたくさんのお客様に作業製品を買ってもらいたい! そのために製品の良さを伝えたい!

事例: 販売会に向けて作業製品のPR方法を考えよう!(作業学習)

これまでの実践

- ▶ ポスター
- ▶ 製品展示
- ▶ 呼び込み
- ▶ 口頭説明

ICT

- ▶ CM動画でのPR
- ▶ 参考動画検索
- ▶ 写真・動画撮影
- ▶ 動画編集
- ▶ BGM・テロップ

資質・能力

- ・相手の立場で考え、意見を出し合える。
- ・仲間と協働して活動することができる。

資料では、ICT活用による児童生徒の学びの変化や、育成を目指す資質・能力をより具体的に紹介しています。

巻末には、日々の授業づくりや校内研修で活用できるワークシートも付いています。ぜひ活用してみてください。



【総合教育センター 専門支援部特別支援課】

「こどもまんなか社会」の実現に向けて

～こどもの意見聴取と施策への反映の推進～

◆こども大綱に掲げるこども・若者の社会参画・意見反映

こども基本法(令和5年4月施行)に基づき国が策定した「こども大綱」では、「こども・若者が権利の主体であること」や、「こども施策はこどもや若者・子育て当事者とともに進めていくこと」などが基本的な方針に掲げられ、こども施策を推進するために必要な事項の一つに「こども・若者の社会参画・意見反映」が盛り込まれています。

こども・若者の社会参画・意見反映を進めることは、こども施策の実効性を高めることと、こども・若者の自己肯定感や社会の一員としての主体性を高めることにつながるという大きく2つの意義があるとされています。家庭や学校など、こどもや若者に関わる様々な場所においてもこどもや若者の意見を聴く取組が進み、こどもや若者の社会参画や意見反映の意義・重要性等について社会全体に浸透することが期待されています。

こども・若者の社会参画・意見反映の意義(こども大綱より抜粋)

こどもや若者の意見を聴いて施策に反映することやこどもや若者の社会参画を進めることには、大きく、2つの意義がある。

- ①こどもや若者の状況やニーズをより的確に踏まえることができ、施策がより実効性のあるものになる。
- ②こどもや若者にとって、自らの意見が十分に聴かれ、自らによって社会に何らかの影響を与える、変化をもたらす経験は、自己肯定感や自己有用感、社会の一員としての主体性を高めることにつながる。ひいては、民主主義の担い手の育成に資する。

出典:「こども大綱の推進」(こども家庭庁ホームページ)
(<https://www.cfa.go.jp/policies/kodomo-taikou>)

今回は、「(仮称)静岡県こども計画」策定にあたって、掛川市立中小学校、三島市立北中学校、静岡県立静岡農業高等学校、静岡県立静岡北特別支援学校南の丘分校の4校に意見聴取を実施しました。

「こどもや若者が自分たちの夢や希望をかなえたり、力を発揮するために、どんなことが必要か」をテーマに、職員とこどもがグループワーク形式で意見交換を実施しました。聴取後の感想からは、こどもたちの社会参画意識や自己有用感の高まりを感じることができました。



遠距離通学や授業料等の補助が充実していれば選択肢が広がる。

結婚して家族を養うには多額の費用がかかるため、収入が少ない、借金(奨学金)を抱えていると結婚をしたくても諦めてしまう。

校則改正などについて、生徒と教師が対等に話せる場が欲しい。

学校の職業体験には限りがある。高校生向けの職業体験施設(高校生版キッザニア)があれば、多様な職業を知ることができるし、やりたいことを見つけるきっかけとなる。

僕らが普段思っていることを、県の人が聞いてくれることは今までなかったので、これからもこういう機会を増やしてほしい。

こどもが夢や希望をかなえるにあたって、現在の環境にどのような障壁があるのか、自分事として考えることができた。



子ども会等の行事を積極的に行う地域とそうでない地域がある。地域間で差がないようにしてほしい。



【教育政策課・社会教育課】

組合員を対象とした
メンタルヘルス相談窓口

○教育厚生課……………TEL 054(221)3131

○静岡県教職員互助組合相談センター……………月・水・金曜日(午後1時から5時まで) ☎ 0120(034)054

○公立学校共済組合……………詳しくは右記QRコードをご確認ください▶▶▶



全ての子どものWell-beingのために ～質の高い 幼児教育を！～

静岡県幼児教育センターは、子どものWell-beingを目指し、質の高い幼児教育を提供できるよう、県内全ての保育者を対象にした研修会の開催や保育研究を行っています。

幼児教育センター研修案内

- 「インクルーシブ保育研修」 7/24(水) 午後
発達特性と支援法に関する知識を学び、特性に応じた効果的な関わり方や、共に育ち合うクラスづくりに
ついて考えます。
講義 「幼児期におけるインクルーシブ保育の在り方とは(仮)」
講師 常葉大学准教授 赤塚 めぐみ 氏 会場 静岡県総合教育センター
- 「乳幼児教育・保育研修」 7/30(火) 終日
乳幼児の保育の在り方について理解を深めます。幼児期への円滑な接続を踏まえ、乳幼児期の保育を考えます。
講義 午前 乳児保育を考える ～体と心の主人公になる土台を創る～
講師 あおぞらキンダーガーデン 園長 岡村 由紀子 氏 会場 静岡県男女共同参画センターあざれあ
講義 午後 幼児教育を考える ～子どもが主体となる幼児教育～
講師 秋野不矩美術館 館長 鈴木 英司 氏 会場 静岡県男女共同参画センターあざれあ
- 「幼児理解研修～エピソード記録と保育～」 8/9(金) 午後
記録を元に、幼児理解を深め、環境の再構成や子どもたちへの関わり方等について考えます。
講義 幼児理解につながる子どもの見取りとエピソード記録(仮)
講師 静岡大学教授 田宮 縁 氏 会場 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ
- 「幼児教育マネジメント研修」 9/25(水) 午前
人材育成や安心・安全な園運営について考える管理職対象の研修です。
講義 保育の質の向上を目指すマネジメントとは(仮)
講師 静岡大学教授 田宮 縁 氏 会場 静岡県総合教育センター



研修会には、
小学校、中学校、特別支援学校
の先生方も受講可能です！
是非ご参加ください。

全ての研修会を
オンデマンド配信します。
園・学校内でも
研修を受けることができますよ！



- 「幼小接続期の教育・保育研修」 9/25(水) 午後
「幼保小の架け橋期」の幼児教育と小学校教育との学びのつながりについて理解を深めます。小学校の
先生にもお勧めです。

講義 子ども主体の円滑な幼小接続 ～10の姿をつなぐ～(仮)

講師 静岡産業大学 講師 宮村 典雄 氏 会場 静岡県総合教育センター

研修会の申込みはこちらから▶▶▶

※申込み期間(一般)5月1日(水)～5月31日(金)



おし
らせ

インクルーシブ教育保育研究「Springプロジェクト」シンポジウム

令和7年 2/21(金) 午後 会場 静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

幼児教育センターでは、全ての子どものWell-beingの向上をめざして、インクルーシブ教育保育研究を進めています。シンポジウムでは、インクルーシブ保育体制、幼児へのアセスメントと支援方法、小学校への円滑な接続のあり方等、3年間の研究の成果を広く県内外に発信します。

【義務教育課 幼児教育推進室】

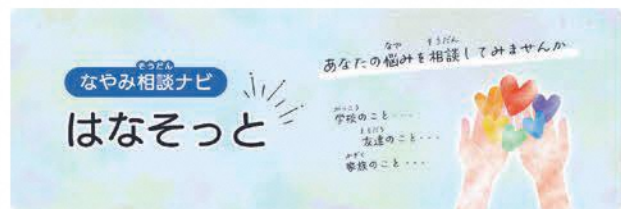
なやみ相談ナビ

「はなそっと」を開設しました！

悩みを抱える児童生徒が、いつでも相談窓口につながるができるよう、個々に抱える悩みや困り事に対し、適切な相談窓口を検索できる「なやみ相談ナビ『はなそっと』」を開設しました！

利用者は、該当の選択ボタンをクリックするだけで、相談窓口を簡単に検索できます。

検索できる窓口は教育、福祉、保健、医療、雇用等の相談窓口で、県の相談窓口に加え、市町が設置する相談窓口も検索できます。



HPにアクセスして、
ショートカットを児童生
徒用のPCやタブレット上
に表示いただくと、より便
利にご利用いただけま
す▶



【教育政策課】

歴史文化情報センター 移転オープンしました！

歴史文化情報センターは、令和6年4月2日より静岡県立中央図書館で業務を再開しました。県内の貴重な資料を公開しておりますのでご利用ください。なお、図書館開館時間と利用時間が異なりますので、ご注意ください。詳しくは静岡県立中央図書館Webサイト、もしくは以下の連絡先へお問い合わせください。

業務再開日 令和6年 4月2日(火)

住所 静岡市駿河区谷田53-1
(静岡県立中央図書館内)
電話 054-294-7227

Mail rekibun@pref.shizuoka.lg.jp

利用時間 図書館開館日の平日 9:00～17:00
資料の出納受付は16:00まで／出納資料の返却は16:30まで

- 土日祝日は事前予約した資料の閲覧複写のみ可能です。資料の追加、レファレンスなどは受付できませんので、予めご了承ください。
- 図書館開館日は静岡県立中央図書館Webサイトでご確認ください。

「しずおかの音」を調べるなら
静岡県立中央図書館 歴史文化情報センター

静岡県立
中央図書館
Webサイト



後援 文部科学省 静岡県教育委員会 静岡市教育委員会 浜松市教育委員会 静岡新聞社・静岡放送 中日新聞東海本社

2024年8月31日(土) 応募締切

静岡教弘教育研究実践論文募集

静岡教弘最優秀賞

学校部門 60万円／個人・グループ部門 30万円

詳しくはこちらの
リーフレットをご覧ください！



公益財団法人日本教育公務員弘済会静岡支部
TEL 054-205-5130

広告

Eジャーナルしずおかは、市町教委等のご協力により、これまで静岡県の全ての公立学校等教職員一人一人に配布していましたが、同等の情報発信を行う新たなウェブサイトの開設に伴い、令和6年4月号(第270号)から発行部数を15,000部、公立学校1校あたり10部程度の配布としております。今後、令和6年10月を目途に紙での発行を終了し、新ウェブサイトへ完全に移行する予定です。

*次回(第272号)の発行は、令和6年6月5日(水曜日)の予定です。